MDHCだより　NO. 66

H26. 4. 17

三河歯科衛生専門学校

学校評価について

校長　柏　木　博　行

学校としては歯科衛生士国家試験の合格率や学生募集状況などで評価をうけるわけですが、法人本部から学校評価についての諮問もおりてきます。幹部職にて歯科衛生士養成所自己点検表なる雛形のものにて、学生、施設設備、教員数、教育内容、実習などに関して適しているかをチェックし答申しています。

しかし、本部からはそれも必要だが第三者による評価なども求められます。

臨床実習施設の先生方には、毎年アンケートを取らせていただきながら学生の実習をふまえて、学校への要望等ご意見を聞かせてもらっていますが、それだけではなく外から見た学校自体の評価をとらなければならないことになります。

毎年秋に保護者会を行い学年ごとに、前期での学習状況や学校生活と家庭生活についてなど資料を交えて伝えながら、臨床実習や、国家試験、就職活動など多岐にわたって報告していますが、こちらからの一方的なものばかりでなく保護者側からの本校に対する意見をもっと拾いあげる機会を設ける必要があると考えます。ひいてはそういった努力が他校とのいい意味での差別化につながるかもしれませんし学生教育のマンネリ化を防ぐ事になると考えます。これからも貴重なご意見お聞かせくださるようお願いします。

1．入学式

平成２６年度入学式は、4月３日（木）１０時から本校講堂にて挙行されました。西三河七地区歯科医師会長、愛知県歯科衛生士会代表をはじめ、校友会ＯＧや多くの保護者のご出席のもと、４２名が新たな学生生活の第一歩を歩み始めました。

1年生「歯科衛生士学校に入学して」感想文～抜粋～

『歯科衛生士になるためには勉強第一ですが、同じ３年間を過ごすなら、“楽しく充実した３年間”にしたいと思います。メリハリをつけた学校生活を送りたいです。』『９０分授業はなかなか根気が要り、毎日、先生の話を聞くのに必死です。勉強の仕方やノートの取り方などを工夫しなくてはいけないと思いました。』『専門用語の多さに覚えられるかとても不安ですが、新しいことを学べる楽しさもあります。同じ目標をもつ仲間と助け合っていきたいです。』『これから悩むこともたくさんあると思いますが、歯科衛生士になりたいと初めて思った時の気持ちを忘れずに頑張りたいです。３年後、この学校に入学して良かったと思える様、１日１日を大切にしていきたいです。』

２．２期臨床実習を終えて

１）２期臨床実習アンケートから

「実習内容で費やした時間の多いもの」

１期同様、診療補助が全体の約６割であった。見学が３割から２割に減り、予防処置が増えた。

「実習以外での時間の使い方」

実習帳の記録が約６割と一番多く、次いでアルバイト、テレビという順であった。勉強時間も若干短くなり、少々気の緩みが見え隠れする結果であった。

「臨床実習の感想」　～抜粋～

『何度も見学し、手順は覚えたはずなのに、いざ補助につくと頭の中が真っ白になり、診療の流れを止めてしまった。』『今何をしているのか、なぜこの治療が必要かなどの質問に答えることができなかった。』と不安が残る実習となった学生も多かったが、『歯周治療について何度も分かりやすく説明をしていただき、補助につく際、口腔内やパノラマの見方が実習の途中から変わってきた自分がいた。』『歯科衛生士の方々の向学心あふれる姿に尊敬と憧れを抱き、歯科衛生士を目指して良かったと改めて思った。実習先の皆様のおかげで、消極的だった私が成長できたと実感できる実習であった。』と充実した実習の様子が伺える感想もあった。

２）自己評価

『学んだことを振り返る』をテーマに、各自が実習前に立てた到達目標について“自己評価”を行い、成果を確認しました。１・２期の結果は以下の通りです。

「到達目標は達成されましたか」

	1期	2期
予想以上	２．４％	２．４％
予定通り	３１．８％	３６．６％
あと少し	６３．４％	６１．０％
できなかった	２．４％	０％

「実習中は意欲的に学習しましたか」

	1期	2期
大変努力した	１４．６％	２２．０％
努力した	８５．４％	７８．０％
あまりしなかった	０％	０％

「知識は確実なものとなりましたか」

	1期	2期
大いに身についた	３６．６％	３９．０％
身についた	６３．４％	６１．０％
変化なし	０％	０％

３．第23回　歯科衛生士国家試験結果

（Ｈ２６．３月実施　１５回生受験）

全国では、６，６８５名が受験し、合格率は９７．１％でした。本校の卒業生３９名は全員合格し、昨年に引き続いて１００％合格となりました。臨床実習でのご指導が大きな力となっています。ありがとうございました。